

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地元産そばを起点とする地域活性化プロジェクト2
事業主体 (連絡先)	木曾のそば推進協議会 (長野県商工会連合会木曾支部事務所 0264-55-3130)
事業区分	(6) 産業振興、雇用拡大に関する事業 イ 農業の振興と農山村づくり
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	419,294円 (うち支援金: 335,000円)

事業内容

新そばの時期と、木曾の郷土食「すんき」が食べられる時期が重なることから、「木曾産そば」「すんきそば」等を対象としたスタンプラリーを開催することで、木曾産そばを県内外にPRし、認知度向上と誘客促進、木曾地域の活性化を図る。

【主な活動】

- ・スタンプラリーの開催 (11月～2月)
- ・ホームページ、メディアによるPR
- ・イベントの開催
- ・抽選会の一般公開



【PRイベント】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

スタンプラリーのアンケート集計の結果、

- ① 応募件数は665件となり、目標値を下回った。
- ② 木曾への初来訪者は8%となり、目標値を下回った。

原因としては、スタンプ2個・3個コースの応募者が過去最高となったことにより、全体としての件数が減少し、複数回そば店へ足を運ぶことにより、初来訪と答える人が減少したことが考えられる。

一方で、木曾へ複数回足を運んでもらえたこと、木曾産そばの認知度が年々向上していることは、スタンプラリーの効果として評価できる。

【目標・ねらい】

- ① 応募件数 890件
- ② 木曾への初来訪者 12%
いずれかが向上すること

※自己評価【B】

【理由】

目標値を下回った一方で、複数回木曾へ足を運んでもらえていること、認知度が年々向上していることは効果として評価できる。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

「木曾産そば」の認知度は年々向上してきており、「すんき」も地理的表示保護制度(GI)に登録になっていることから、木曾のブランド力を高める土台は出来つつある。今後も、そば生産事業者とそば店が一体となり、また「すんき」と組み合わせることで、他地域にはない木曾ならではの強みとしてPR活動に取り組んでいく。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

- 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
- 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある